

お茶の水女子大学学报



平成 9 年 3 月 1 日
お茶の水女子大学庶務課

目 次

◇学内規則	2
◎お茶の水女子大学学生委員会規程の一部を改正する規程	2
◎お茶の水女子大学理学部の講座及び授業科目に関する規程の一部を改正する規程	3
◎お茶の水女子大学理学部履修規程の一部を改正する規程	4
◎お茶の水女子大学生活科学部の講座及び授業科目に関する規程の一部を改正する規程	5
◎お茶の水女子大学生活科学部履修規程の一部を改正する規程	8
◎お茶の水女子大学文教育学部の講座及び授業科目に関する規程の一部を改正する規程	13
◎お茶の水女子大学文教育学部履修規程の一部を改正する規程	15
◎お茶の水女子大学予算執行要領を廃止する要領	22
◇新任部局長紹介	23
◇人 事	24
◇諸 報	26
◎太田学長全学送別会	26
◎計 報	27
◎研 修	28
◎海外渡航	28

◎レクリエーション行事	29
-------------	----

◇日 誌	30
------	----

学内規則

○平成9年お茶の水女子大学規則第1号

お茶の水女子大学学生委員会規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成9年1月29日

お茶の水女子大学長 太田次郎

お茶の水女子大学学生委員会規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学学生委員会規程（平成5年2月24日制定）の一部を次のように改正する。

第4条1項中「3年」を「2年」に改める。

附 則

- 1 この規程は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 この規程施行の日の前日において、改正前の規程により選出された委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、この規程の施行の日におけるその者の残任期間とする。

○平成9年お茶の水女子大学規則第2号

お茶の水女子大学理学部の講座及び授業科目に関する規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成9年1月29日

お茶の水女子大学長 太田次郎

お茶の水女子大学理学部の講座及び授業科目に関する規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学理学部の講座及び授業科目に関する規程（平成4年3月25日制定）の一部を次のように改正する。

別表第2物理学の項△物性物理学講座の欄中「物性物理学 2」を「物性物理学序論 2」に改め、

別表第3化学の項△構造化学講座の欄中

「構造化学特別講義 I 2 「構造化学特別講義 2
構造化学特別講義 II 2」を 量子化学 2」に改める。

△反応化学講座の欄中「精密有機合成化学 2」を「合成有機化学 2」に改める。

別表第4生物学科の項△構造生物学講座の欄中

「動物系統学実習 2」を削り、
「動物系統学臨海実習 1」を「動物系統学臨海実習 2」に改める。

別表第5情報科学の項△情報処理学講座の欄中

「自然情報基礎論 4」を「自然情報基礎論 I 2
自然情報基礎論 II 2」に改める。

附 則

この規程は、平成9年4月1日から施行する。

○平成9年お茶の水女子大学規則第3号

お茶の水女子大学理学部履修規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成9年1月29日

お茶の水女子大学長 太田次郎

お茶の水女子大学理学部履修規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学理学部履修規程（平成4年1月29日制定）の一部を次のように改正する。

別表第3中「物性物理学 | 2 |」を「物性物理学序論 | 2 |」に改める。

別表第4中「精密有機合成化学 | 2 |」を「合成有機化学 | 2 |」に、
「構造化学特別講義Ⅰ | 2 |」「構造化学特別講義 | 2 |

構造化学特別講義Ⅱ | 2 |」を「量子化学 | 2 |」に改める。

別表第5中「動物系統学実習 | 2 |」を削り、

「動物系統学臨海実習 | 1 |」を「動物系統学臨海実習 | 2 |」に改め、

「計算基礎論 | 2 |」の次に「確率序論 | 2 |」を加える。

別表第6中

「自然情報基礎論 | 4 | (Ⅱ)」を「自然情報基礎論Ⅰ | 2 | (Ⅱ)

自然情報基礎論Ⅱ | 2 | (Ⅱ)」に

改め、「化学Ⅱ | 4 | (化学科は履修できない。)」の次に「生物学Ⅰ | 2 | (生物学科は履修できない。)」を加える。

別表第8中「社会教育 | 2 |」を「生涯学習論 | 2 |」に、「視聴覚教育 | 1 |」を「視聴覚教育メディア論 | 1 |」に改める。

附 則

この規程は、平成9年4月1日から施行し、平成9年度入学者から適用する。

○平成9年お茶の水女子大学規則第4号

お茶の水女子大学生生活科学部の講座及び授業科目に関する規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成9年1月29日

お茶の水女子大学長 太田次郎

お茶の水女子大学生生活科学部の講座及び授業科目に関する規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学生生活科学部の講座及び授業科目に関する規程（平成5年3月25日制定）の一部を次のように改正する。

別表第1生活環境学科の項

△生活工学講座の欄中

「生活環境物理学 2」「生活環境物理学 2
洗 浄 科 学 2 基礎生活材料物性 2
衣生活環境学 2 を 洗 浄 科 学 2 に、
衣住環境評価学 2 衣生活環境学 2
居住環境学 2 衣住環境評価学 2
基礎生活材料物性 2」 居住環境学 2」
「生活工学論 2」を「生活工学基礎演習 2」に、
「生活環境物理学実験 2」「生活環境物理学実験 2
生活情報工学演習 2 生活材料化学 2
洗净科学実験 1 生活情報工学演習 2
被服製作実習 2 洗净科学実験 2
応用居住環境学 2 を 被服製作実習 2 に改め、
生活設備工学 2 応用居住環境学 2
応用感覚工学 2 生活設備工学 2
生活材料物性 2 応用感覚工学 2
生活材料化学 2」 「生活材料物性 2」
「応用生活環境物理学 2」の次に「応用衣生活環境学 2」を、
「生活環境化学実験 2」の次に「生活工学特殊講義 4」を加える。

△生活工学講座の欄中

「*臨床栄養学 2」及び「*官能検査論 2」を削り、
「食物科学演習 4」を「食品衛生学 2
食物科学基礎演習 2」に改め、
「食品衛生学 2」を削り、
「食物科学輪講 4」の前に「臨床栄養学 2
官能検査論 2
食物科学演習 2」を加える。

△人間科学講座の欄中

「成 長 学 2」「適応生理学 2
適応生理学 2」を 成 長 学 2」に、
「身体発達学実験実習 2」を「人体計測学実習 2」に、

「社会生物学 2」を「生物社会論 2」に、
「体型学 2」を「健康科学総論 2
健康医学 2」に改め、
「古人類学 2」を削り、
「生物コミュニケーション論 2」の次に「生物人間科学特別講義 2
環境と人体 2
感覚生理学 2」を加える。

別表第2 人間生活学科の項

△生活工学講座の欄中

「* 発達保健学 2」を削り、
「* 児童文化論 2」を「* 教育臨床学 2」に、
「発達観察法 2」「発達臨床観察法 2
障害臨床実験法 2」を「発達臨床実験法 2」に改め、
「児童学入門 2」を削り、
「教育臨床学 2」を「発達保健学 2
児童文化論 2」に改め、
「発達保健講義講読 2」、「児童文化講義講読 2」、「発達保健研究
実習 2」、「児童文化研究演習 2」、「発達論文演習 2」及び「障
害臨床論文演習 2」を削り、
「発達教育実習 4」「教育発達実習 2
発達保健実習 4」を「発達障害実習 2」に改め、
「心理臨床実習 2」「心理臨床実習 4」
「人間関係実習 4」の次に「発達研究実習 4」を加える。

△生活社会科学講座の欄中

「※ 比較女性論 2」を「※ ジェンダー論 2」に改め、
「※ 家族生活史総論 2」を削り、
「* 発達社会学 2」の次に「比較女性論 2」を加え、
「児童福祉論 2」及び「家族生活史各論 2」を削り、
「生活政治学 2」を「生活政治学総論 2
生活政治学各論 2」に、
「生活調査実習 2」を「生活社会調査実習 2」に改め、
「家族心理学 2」を削り、
「女性史 2」を「女性社会史 2」に改め、

「生涯福祉論 2」の次に「家族生活史 2」を加える。

児童福祉論 2
生活と金融 2
生活と財政 2
国際経済と生活 2
生活と行政 総論 2
生活と行政 各論 2
女性と政治 2
社会学 2
財産と法 2
法女性学 2
女性政策論 2
生活社会科学特殊講義 2」

△生活文化学講座の欄中

「*被服文化論 4」を「*服飾文化概論 2」
*服飾美学概論 2」に、
「生活文化史 4」「生活文化史概論 2」
情報解析論 4 を生活文化史各論 2 に、
服飾美学 4」情報解析概論 2
情報解析各論 2
服飾美学各論 2
服飾文化各論 2」
「環境デザイン実習 2」を「環境デザイン論 2」に改め、
「服飾制作実習 2」の次に「美学 2」を加え、
「日本服飾史演習 4」を 日本服飾史演習Ⅰ 2
日本服飾史演習Ⅱ 2」に、
「比較生活文化史 4」を 比較生活文化史Ⅰ 2
比較生活文化史Ⅱ 2」に改める。

附 則

この規程は、平成9年4月1日から施行する。

○平成9年お茶の水女子大学規則第5号

お茶の水女子大学生生活科学部履修規程の一部を改正する規程を次のように定める。
平成9年1月29日

お茶の水女子大学長 太田次郎

お茶の水女子大学生生活科学部履修規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学生生活科学部履修規程（平成5年2月24日制定）の一部を次のように改正する。

別表第1後段の表

学部共通科目の項中

「比較女性論|2|」を「ジェンダー論|2|」に改める。

生活環境学科共通科目の項中

「臨床栄養学|2|」及び「官能検査論|2|」を削る。

人間生活学科共通科目の項中

「発達保健学|2|」、「児童文化論|2|」及び「家族生活史総論|2|」を削り、

「保育臨床学|2|」の次に「教育臨床学|2|」を、

「発達社会学|2|」の次に「比較女性論|2|」を加え、

「服飾文化論|4| | | | | | ○|」を

「服飾文化概論|2| | | | | | ○|

服飾美学概論|2| | | | | | ○|」に改める。

別表第2生活環境学科

専門科目

●生活工学講座・専攻科目（必修）の欄中

「洗 浄 科 学	2	(Ⅱ)	「基礎生活材料物性	2	(Ⅰ)
衣 生 活 環 境 学	2	(Ⅱ)	洗 浄 科 学	2	(Ⅱ)
衣 住 環 境 評 価 学	2	(Ⅱ)	を 衣 生 活 環 境 学	2	(Ⅱ) に、
居 住 環 境 学	2	(Ⅱ)	衣 住 環 境 評 価 学	2	(Ⅱ)
基 礎 生 活 材 料 物 性	2	(Ⅱ)	居 住 環 境 学	2	(Ⅱ)
「生 活 工 学 論	4	(Ⅲ)	」を「生活工学基礎演習	4	(Ⅲ)」に改

める。

●食物科学講座・専攻科目（必修）の欄中

「水畜産食品学|2|(Ⅲ)」の次に

「食品衛生学|2|(Ⅱ~Ⅳ)」を加え、

「食物科学演習|4|(Ⅳ)」を「食物科学基礎演習|2|(Ⅳ)」に改める。

●人間科学講座・専攻科目（必修）の欄中

「成 長 学	2	(Ⅰ)	を「適応生理学	2	(Ⅰ) に改
適 応 生 理 学	2	(Ⅰ)	成 長 学	2	(Ⅱ)」

める。

●生活工学講座・専攻科目（選択）の欄中

「生活情報工学演習	2	(Ⅱ)	「生活材料化学	2	(Ⅱ)
洗淨科学実験	1	(Ⅲ)	生活情報工学演習	2	(Ⅲ)
被服製作実習	2	(Ⅲ)	洗淨科学実験	2	(Ⅲ)
応用居住環境学	2	(Ⅲ)	を被服製作実習	2	(Ⅲ) に改
生活設備学	2	(Ⅲ)	応用居住環境学	2	(Ⅲ)
応用感覚工学	2	(Ⅲ)	生活設備学	2	(Ⅲ)
生活材料物性	2	(Ⅲ)	応用感覚工学	2	(Ⅲ)
生活材料化学	2	(Ⅲ)」	生活材料物性	2	(Ⅲ)」

め、

「応用生活環境物理学 | 2 | (Ⅲ)」の次に「応用衣生活環境学 | 2 | (Ⅲ)」を、

「生活環境化学実験 | 2 | (Ⅲ)」の次に
「生活工学特殊講義 | 4 | (Ⅲ・Ⅳ)」を加える。

●食物科学講座・専攻科目 (選択) の欄中

「食品衛生学 | 2 | (Ⅱ・Ⅲ)」を削り、
「食生活計画論 | 1 | (Ⅰ, Ⅱ)」の次に
「臨床栄養学 | 2 | (Ⅱ, Ⅲ)
官能検査論 | 2 | (Ⅱ, Ⅲ)
食物科学演習 | 2 | (Ⅳ)」を加える。

●人間科学講座・専攻科目 (選択) の欄中

「社会生物学	2	(Ⅱ)	} 講義11科目中12単位以上必修
生態人類学	2	(Ⅱ)	
時間生物学	2	(Ⅱ, Ⅲ)	
加齢生体学	2	(Ⅱ, Ⅲ)	
特殊環境適応論	2	(Ⅱ, Ⅲ)	
人体構造学	2	(Ⅲ)	
体型学	2	(Ⅲ)	
人体表層学	2	(Ⅱ~Ⅳ)	
古人類学	2	(Ⅱ~Ⅳ)	
生体機構論	2	(Ⅱ~Ⅳ)	
生物コミュニケーション論	2	(Ⅱ~Ⅳ)	
「生物社会論	2	(Ⅱ)	} 講義15科目中12単位以上必修
古人類学	2	(Ⅱ)	
生態人類学	2	(Ⅱ, Ⅲ)	
時間生物学	2	(Ⅱ, Ⅲ)	
加齢生体学	2	(Ⅱ, Ⅲ)	
特殊環境適応論	2	(Ⅱ, Ⅲ)	
人体構造学	2	(Ⅲ)	
健康科学総論	2	(Ⅲ)	
健康医学	2	(Ⅲ)	
人体表層学	2	(Ⅱ~Ⅳ)	
生体機構論	2	(Ⅱ~Ⅳ)	
生物人間科学特別講	2	(Ⅱ~Ⅳ)	

に、

義			
環境と人体	2	(Ⅱ～Ⅳ)	}
感覚生理学	2	(Ⅱ～Ⅳ)	
「身体発達学実験実習	2	(Ⅱ・Ⅲ)」を「人体計測学実習	

に改める。

●学部共通科目の欄中

「比較女性論 | 2 |」を「ジェンダー論 | 2 |」に改める。

●学科共通科目の欄中

「臨床栄養学 | 2 |」及び「官能検査論 | 2 |」を削る。

別表第3 人間生活学科

専門科目

●発達臨床学講座・専攻科目(必修)の欄中

「発達観察法	2	(Ⅱ)	を「発達臨床観察法	2	(Ⅱ)	に改
障害臨床実験法	2	(Ⅱ)」	発達臨床実験法	2	(Ⅱ)」	め

める。

●生活文化学講座・専攻科目(必修)の欄中

「生活文化史	2	(Ⅱ)	「生活文化史概論	2	(Ⅱ)	}	
情報解析論	2	(Ⅲ)	生活文化史各論	2	(Ⅱ)		
服飾美学	2	(Ⅳ)」を	情報解析論概論	2	(Ⅲ)		に改
			情報解析論各論	2	(Ⅲ)		
			服飾美学各論	2	(Ⅳ)		
			服飾文化各論	2	(Ⅳ)」		

める。

●発達臨床学講座・専攻科目(選択)の欄中

「児童学入門 | 2 | (Ⅰ)」及び「教育臨床学 | 2 | (Ⅱ)」を削り、

「発達社会文化論 | 2 | (Ⅱ)」の次に

「発達保健学 | 2 | (Ⅲ・Ⅳ)

児童文化論 | 2 | (Ⅲ・Ⅳ)」を加え、

「発達保健講義講読 | 2 | (Ⅲ)」及び「児童文化講義講読 | 2 | (Ⅲ)」を削り、

同備考欄中

「* 8 科目中 1 つ以上選択必修」を「* 6 科目中 1 つ選択必修」に改め、

「発達保健研究演習 | 2 | (Ⅲ)」及び「児童文化研究演習 | 2 | (Ⅲ)」を削り、

同備考欄中

「* 8 科目中 1 つ選択必修」を「* 6 科目中 1 つ選択必修」に改め、

「発達臨床論文演習	4	(Ⅳ)	} 3 科目中 1 つ選択必修
発達論文演習	4	(Ⅳ)	
障害臨床論文演習	4	(Ⅳ)	

」を削り、

「発達教育実習 | 4 | (Ⅲ)」「教育発達実習 | 4 | (Ⅲ)

発達保健実習 | 4 | (Ⅲ) を発達障害実習 | 4 | (Ⅲ) に改

心理臨床実習 | 2 | (Ⅲ) | 心理臨床実習 | 4 | (Ⅲ)
 発達研究実習 | 4 | (Ⅲ) |

め、

「人間関係実習 | 2 | (Ⅲ)」の次に「発達研究実習 | 4 | (Ⅲ)」
 加え、

同欄に「発達臨床論文演習 | 4 | (Ⅳ) 各教官開 講中1つ
 選択必修」を加える。

同備考欄中

「*5科目中1つ選択必修」を「*6科目中1つ選択必修」に改める。

●生活社会科学講座・専攻科目(第1選択)の欄中

「児童福祉論 | 2 | (Ⅲ)」及び「家族生活史各論 | 2 | (Ⅲ・Ⅳ)」
 を削り、

「生活政治学 | 2 | (Ⅲ・Ⅳ)」を

「生活政治学総論 | 2 | (Ⅲ・Ⅳ)」

「生活政治学各論 | 2 | (Ⅲ・Ⅳ)」に、

「生活調査実習 | 2 | (Ⅲ・Ⅳ)」を

「生活社会調査実習 | 2 | (Ⅲ・Ⅳ)」に改める。

●生活社会科学講座・専攻科目(第2選択)の欄中

「家族心理学 | 2 | (Ⅱ)」を削り、

「女性史 | 2 | (Ⅱ)」を「女性社会史 | 2 | (Ⅱ)」に改
 め、

「生涯福祉論 | 2 | (Ⅱ)」の次に「家族生活史 | 2 |
 児童福祉論 | 2 |
 生活と金融 | 2 |
 生活と財政 | 2 |
 国際経済と生活 | 2 |
 生活と行政総覧 | 2 | を
 生活と行政各論 | 2 |
 女性と行政 | 2 |
 社会法 | 2 |
 財産と法 | 2 |
 法女性学 | 2 |
 女性政策論 | 2 |
 生活社会科学特殊講
 義 | 2 |」

加える。

●生活文化学講座・専攻科目(選択)の欄中

「環境デザイン実習 | 2 | (Ⅱ)」を「環境デザイン論 | 2 | (Ⅱ)」に改
 め、

「服飾制作実習 | 2 | (Ⅱ)」の次に「美学 | 2 | (Ⅱ)」
 を加え、

「日本服飾史演習 | 4 | (Ⅲ)」を「日本服飾史演習Ⅰ | 2 | (Ⅲ)」に、

	日本服飾史演習Ⅱ	2	(Ⅲ)	」
「比較生活文化史Ⅳ」を	比較生活文化史Ⅰ	2	(Ⅳ)	に改
	比較生活文化史Ⅱ	2	(Ⅳ)	」

める。

●学部共通科目の欄中

「比較女性論Ⅱ」を「ジェンダー論Ⅱ」に改める。

別表第4◎教職に関する科目の欄中

「社会教育Ⅱ」を「生涯学習論Ⅱ」に改める。

視聴覚教育Ⅰ」 視聴覚教育メディア論Ⅰ」

附 則

この規程は、平成9年4月1日から施行し、平成9年度入学者から適用する。

○平成9年お茶の水女子大学規則第6号

お茶の水女子大学文教育学部の講座及び授業科目に関する規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成9年2月24日

お茶の水女子大学長 佐藤 保

お茶の水女子大学文教育学部の講座及び授業科目に関する規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学文教育学部の講座及び授業科目に関する規程（平成5年3月24日制定）の一部を次のように改正する。

別表第1人文科学科の項

△哲学講座の欄中

「倫理思想史特殊講 各4」の次に「倫理学資料講読 4 を加える。
日本倫理思想史資料 4
講読
西洋倫理思想史資料 4
講読
倫理学研究 4
日本倫理思想史研究 4
西洋倫理思想史研究 4」

別表第2言語文化学科の項

△日本語・日本文学講座の欄中

「*言語文化概論 4」を「*日本言語文化概論 2 に改める。
*英語圏言語文化概論 2」

△英語圏・欧州言語文化講座の欄中

「*比較言語文化論 4」を「*アジア比較言語文化 2 に改める。
論
*ヨーロッパ言語文化 2
論」

別表第3人間社会科学科の項

△教育科学講座の欄中

「教育課程概論 2」の次に「学校臨床学概論 2」を、
「学校県営特殊講義 2」の次に「学校臨床学特殊講義 2 を、
青少年指導・文化論 2
特殊講義」
「学校経営演習 2」の次に「学校臨床学演習 2 を加える。
青少年指導・文化論 2
演習」

△心理学講座の欄中

「◇メンタルヘルス論 2」を「◇メンタルヘルス基礎 2
論」に改める。

別表第4 芸術・表現行動学科の項

△舞踊教育学講座の欄中

- | | | |
|-----------------------|----|-------|
| 「 舞踊創作法実習（舞踊構成
法）」 | 1 | を |
| 同（即興創作） | 1 | |
| 同（舞踊上演法） | 2」 | |
| 「 舞踊創作法実習（舞踊構成
法）」 | 1 | に改め、 |
| 同（即興創作） | 1 | |
| 同（舞踊上演・制作） | 2」 | |
| 「 民族舞踊実習（中級）」 | 1」 | の次に |
| 「 民族舞踊実習（上級）」 | 1 | |
| 舞踊上演法実習（初級） | 1 | |
| 舞踊上演法実習（中級） | 1 | |
| 舞踊上演法実習（上級） | 1 | を、 |
| 舞踊表現技法実習（初級） | 1 | |
| 舞踊表現技法実習（中級） | 1 | |
| 舞踊表現技法実習（上級） | 1」 | |
| 「 舞 踊 伴 奏 法 | 1」 | の次に |
| 「 舞 踊 音 楽 構 成 法 | 1」 | を加える。 |

附 則

この規程は、平成9年4月1日から施行する。

○平成9年お茶の水女子大学規則第7号

お茶の水女子大学文教育学部履修規程の一部を改正する規程を次のように定める。
平成9年2月24日

お茶の水女子大学長 佐藤 保

お茶の水女子大学文教育学部履修規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学文教育学部履修規程（平成5年2月24日制定）の一部を次のように改正する。

別表第1の表備考欄中

「1 外国語は、一の外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語）を必修とし、その履修方法は別に定める」を「1 外国語の必修単位に関しては別表第2を参照すること。また、外国語の履修方法は別に定める。」に改める。

別表第2コア科目の欄中

「外国語（必修）」	英語（12単位）・ドイツ語（16単位）・フランス語（16単位）・中国語（16単位）から1か国語必修 *：必修単位を満たすことが可能な基本科目	を
-----------	---	---

「外国語（必修）」	位）・ドイツ語（16単位）・フランス語（16単位）・中国語（16単位）から1か国語を修得しなければならない。さらに、人文科学科の学生は、英語を除く外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・	に改め、
-----------	--	------

ロシア語・朝鮮語)一つ以上含めて、外国語科目の単位が全体として16単位以上になるように履修しなければならない。

また、言語文化学科の学生は、二つ以上の言語(対象言語は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・朝鮮語)を履修し、外国語科目の単位が全体として20単位以上になるように履修しなければならない。

* : 全学部の学生が必修単位に充てることができる基本科目

** : 文教育学部の学生のみが必修単位に充てることができる基本科目

*** : 人文科学科、言語文化学科の学生のみが、英語12

単位または
ドイツ語、
フランス
語、中国語
16単位を*
もしくは**
のついた基
本科目で履
修した場合
に限り、残
りの必修単
位に充てる
ことができ
る科目とす
る。

英語の欄中

「* 総合英語 IV	2	(II~IV)
* 総合英語 V	2	(II~IV)
* 英会話 I	2	(I)
* 英会話 II	2	(I)
* 英会話 I	2	(I)
上級英語 I	4	(III~IV)
上級英語 II	4	(III~IV)
英会話 III	2	(II~IV)
英会話 IV	2	(II~IV)
「** 総合英語 IV	2	(II~IV)
** 総合英語 V	2	(II~IV)
** 英会話 I	2	(I)
** 英会話 II	2	(I)
*** 上級英語 I	4	(III~IV)
*** 上級英語 II	4	(III~IV)
*** 英会話 III	2	(II~IV)
*** 英会話 IV	2	(II~IV)

ドイツ語の欄中

「* ドイツ語初級 (読本)	4	(I)
* ドイツ語中級 I	4	(II)
* ドイツ語中級 II	4	(II)
* ドイツ語上級	4	(III~IV)
* ドイツ語初級 会話	4	(I~IV)
* ドイツ語上級 会話	4	(II~IV)

を

に改める。

を

* ドイツ語 初歩	4	(I ~ IV)	」
「**ドイツ語初級 (読本)	4	(II)	
**ドイツ語中級 I	4	(II)	
**ドイツ語中級 II	4	(II)	
***ドイツ語上級	4	(III ~ IV)	に改める。
***ドイツ語 初級 会話	4	(I ~ IV)	
***ドイツ語 上級 会話	4	(II ~ IV)	
*** ドイツ語初歩	4	(I ~ IV)	」
フランス語の欄中			
「* フランス語 初級 (読本)	4	(I)	
* フランス語 中級 I	4	(II)	
* フランス語 中級 II	4	(II)	
フランス語上級	4	(III ~ IV)	を
フランス語初級 会話	4	(I ~ IV)	
フランス語上級 会話	4	(II ~ IV)	
フランス語 初歩	4	(I ~ IV)	」
「**フランス語 初級 (読本)	4	(I)	
**フランス語 中級 I	4	(II)	
**フランス語 中級 II	4	(II)	
**フランス語上級	4	(III ~ IV)	
**フランス語上級	4	(III ~ IV)	
**フランス語上級	4	(III ~ IV)	に改める。
***フランス語 初級会話	4	(I ~ IV)	
*** フランス語 上級会話	4	(II ~ IV)	
***フランス語 初歩	4	(I ~ IV)	」
中国語の欄中			
「* 中国語 初級 (読本)	4	(I)	
* 中国語 中級 I	4	(II)	
* 中国語 中級 II	4	(II)	を
中国語 上級	4	(III ~ IV)	
中国語 会話	4	(II ~ IV)	
中国語 初歩	4	(I ~ IV)	」

「**中国語初級 (読本)	4	(I)	
**中国語中級 I	4	(II)	
**中国語中級 II	4	(II)	に改める。
***中国語上級	4	(III~IV)	
***中国語会話	4	(II~IV)	
***中国語初歩	4	(I~IV)	」

ロシア語の欄中

「ロシア語初歩	4	(I~IV)	を
ロシア語会話	4	(I~IV)	」
「***ロシア語初歩	4	(I~IV)	に改める。
***ロシア語会話	4	(I~IV)	」

朝鮮語の欄中

「朝鮮語初歩	4	(I~IV)	を
朝鮮語会話	4	(I~IV)	」
「***朝鮮語初歩	4	(I~IV)	に改める。
***朝鮮語会話	4	(I~IV)	」

別表第3専攻科目・関連科目の表

人文科学科の●専攻科目(選択)の欄中

「倫理思想史特殊 講義 A	4	の次に「倫理学資料講読 日本倫理思想史 資料講読	4	を加える。
同 B	4	西洋倫理思想史 資料講読 倫理学研究 日本倫理思想史 研究 西洋倫理思想史 研究	4 4 2 4 4 4	」

同●関連科目(選択)の欄中

「言語文化概論	4	」を「日本言語文化概 論 英語圏言語文化 概論	2 2	に、
「比較言語文化論	4	」を「777比較言語文化 論 ヨーロッパ言語文化 論	2 2	に、
「メンタルヘルス 論	2	」を「メンタルヘルス 基礎論	2	」に改める。

言語文化学科の●学科共通専攻科目(選択)の欄中

「言語文化概論	4	」を「日本言語文化概 論	2	に、
---------	---	-----------------	---	----

	英語圏言語文化 概論	2	」	
「比較言語文化論	4	」を「アジア比較言語文化 論	2	」に改める。
	ヨーロッパ言語文化 論	2	」	

同●関連科目（選択）の欄中

「メンタルヘルス 論	2	」を「メンタルヘルス 基礎論	2	」に改める。
---------------	---	-------------------	---	--------

人間社会科学科の●専攻科目（選択）の欄中

「教育課程概論	2	」の次に「学校臨床学概論	2	」を、
「学校経営特殊講 義	2	」の次に「学校臨床学特殊 講義	2	」を
		青少年指導・文 化論特殊講義	2	」を
「学校経営演習	2	」の次に「学校臨床学演習	4	」を加え、
		青少年指導・文 化論演習	4	」を加え、

「メンタルヘルス 論	2	」を「メンタルヘルス 基礎論	2	」に改める。
---------------	---	-------------------	---	--------

同●関連科目（選択）の欄中

「言語文化概論	4	」を「日本言語文化概 論	2	」に、
		英語圏言語文化 概論	2	」
「比較言語文化論	4	」を「アジア比較言語文化 論	2	」に改める。
		ヨーロッパ言語文化 論	2	」

同●教職〔社会コース（中学校・高等学校）〕教職に関する科目の欄中

「生徒指導の研究	2	」を「学校臨床学概論	2	」に改める。
----------	---	------------	---	--------

同●教職〔社会コース（小学校・幼稚園）〕教職に関する科目の欄中

「社会教育	2	」を「生涯学習論	2	」に、
「視聴覚教育	1	」を「視聴覚教育 論	2	」に改める。

芸術・表現行動学科の●専攻科目（選択）の欄中

「舞踊創作法実習 （舞踊構成法）	1	」を「舞踊創作法実習 （舞踊構成法）	1	」に改め、
同（即興創作）	1	同（即興創作）	1	
同	2	同	2	
（舞踊上演法）	」	（舞踊上演・制 作）	」	
「民族舞踊実習	1	」の次に「民族舞踊実習	1	」

同	(初級)	1	(上級)	1
	(中級)		舞踊上演法実習	
			(初級)	
			舞踊上演法実習	
			(中級)	
			舞踊上演法実習	
			(上級)	
			舞踊表現技法実習	
			(初級)	
	舞踊表現技法実習			
	(中級)			
	舞踊表現技法実習			
	(上級)			

「舞踊伴奏法 | 1 |」の次に「舞踊音楽構成法 | 1 |」を加える。

同●関連科目(選択)の欄中

「言語文化概論 | 4 |」を「日本言語文化概論 | 2 |」に、

英語圏言語文化概論 | 2 |」

「比較言語文化論 | 4 |」を「アジア比較言語文化論 | 2 |」に、

ヨーロッパ言語文化論 | 2 |」

「メンタルヘルス | 2 |」を「メンタルヘルス基礎論 | 2 |」に改める。

別表第6教職に関する科目の表中

「社会教育 | 2 |」を「生涯学習論 | 2 |」に改める。

視聴覚教育 | 1 |」 視聴覚教育マイ | 1 |

附 則

この規程は、平成9年4月1日から施行し、平成9年度入学者から適用する。

○平成9年お茶の水女子大学規則第／号

お茶の水女子大学予算執行要領を廃止する要領を次のように定める。

平成9年2月28日

お茶の水女子大学事務局長 北 根 康 志

お茶の水女子大学予算執行要領を廃止する要領

お茶の水女子大学予算執行要領（昭和61年3月18日制定）は、廃止する。

附 則

この要領は、平成9年3月1日から実施する。

新任部局長紹介

学 長

(任期 平成9年2月16日～平成13年2月15日)



氏 名 佐藤 保
生年月日 昭和9年4月6日
専 攻 中国文学

[略 歴]

昭和32年3月 東京大学文学部卒業
昭和34年3月 同 大学院人文科学研究科中国文学専攻課程修士修了
昭和40年11月 東京大学助手
昭和42年4月 國學院大学講師
昭和43年4月 同 助教授
昭和48年4月 お茶の水女子大学文教育学部助教授
昭和54年7月 同 教授

[趣味]

趣味と聞かれると、いつも無趣味と答えることにしています。事実、人さまに披露できるような風流な趣味などまったく持ち合わせていませんから。さりとして、常時教育や研究のことばかりを考えているわけでもなく、暇なときにいったい何をしているのだろうと、自分でもよく分かりません。

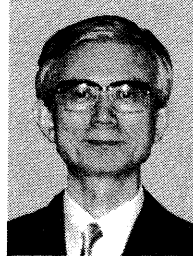
[就任の言葉]

長い伝統のある本学の学長職を担当することになり、学長の義務と責任の重さをひしひしと感じています。これまでは何となく目にしていた歴代学長の仕事ぶりをあらためて思い出しながら、まずは「推古古今」、『お茶の水女子大学百年史』を読みかえています。

国立女子大学という特殊性、そしてまた規模は小さいながらも附属幼稚園から大学院博士課程まで教育の全課程が同じキャンパスの中にそろっているという特異な環境は、本学のかかえる問題を複雑且つ深刻なものにしていますが、むしろこれらの特殊条件を逆に利用して、21世紀をめざしてより充実した教育・研究の場の構築を、全学あげて考えて行きたいと思えます。

附属学校部長

(任期 平成9年2月16日～平成11年3月31日)



氏 名 石川 宏
生年月日 昭和11年9月1日
専 攻 仏文学

[略 歴]

昭和35年3月 東京大学文学部卒業
昭和37年3月 同 大学院人文科学研究科仏文学専攻課程修士修了
昭和42年4月 東京大学助手
昭和43年5月 お茶の水女子大学文教育学部講師
昭和45年12月 同 助教授
昭和57年4月 同 教授

[モットー]

しいて挙げれば、Step by step か。

[趣味]

エンターテインメントとしての読書やプロ野球のテレビ観戦など。

[就任の言葉]

よくいわれることですが、人は十代の終わりまでほぼできあがっているのではないのでしょうか。その頃までにもらったものや拾ったものを、磨いたり、変形したり、ふくらましたりするうちに、一生が終わってしまう気がします。すくなくともわたしの場合、幼少期から青春時代にかけて生きた環境の影響は決定的でした。そしてその環境のなかで、学校や友達は大きな部分を占めています。

ふだんはこうしたことをめったに考えません。しかし、これからの二年はいつも念頭におきたいと思います。

附属学校部の仕事ではずぶの素人ですので、現場の方々のご協力を仰ぎながら、それこそ step by step でやって行きます。

人 事

人 事 異 動

発令年月日	氏 名	官 職 等	異 動 前 の 所 属 ・ 職 名
◇ 昇 任			
9. 2. 16	佐藤 保	学 長 任 期 平成13年2月15日	教授 (文教育学部)
◇ 併 任			
9. 2. 16	石川 宏	附属学校部長・評議員 併任期間 平成11年3月31日	(文教育学部教授)
◇ 併 任 解 除			
9. 2. 16	佐藤 保	附属学校部長・評議員併任解除	(文教育学部教授)
◇ 退 職			
9. 2. 16	太田 次郎	平成9年2月15日限り任期満了退職	学 長

◎ 非常勤職員

発令年月日	氏 名	官 職 等	任 期	備 考
◇ 採 用				
9. 1. 1	青木真紀子	事務補佐員 (生活科学部)	9. 3. 31	
◇ 任 用 更 新				
9. 1. 1	孫 暉	教務補佐員 (理 学 部)	9. 3. 31	
◇ 退 職				
9. 1. 31	中村 純子	事務補佐員 (附属図書館)		
9. 2. 28	小川 珠子	教務補佐員 (大学蔵人文科学部)		
"	戸澤 一恵	" (生活科学部)		
"	北川久美子	ティーチング・アシスタント "		

◎非常勤講師

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇採用				
9. 1. 1	洪井 二三男	講師 (文教育学部)	9. 3. 31	城西大学教授
"	釜屋 修	"	"	駒沢大学教授
"	阪本 ちづみ	"	"	法政大学助教授
"	稲葉 昭英	"	"	東京都立大学講師
"	大明 秀明	"	"	駿河台大学教授
"	桜尾 真弓	"	"	
"	平井 英典	(理学部)	"	早稲田大学教授
"	木原 俊子	(生活科学部)	"	日本女子大学教授
"	田原 俊司	"	"	神田外語大学助教授
"	村瀬 嘉代子	"	"	大正大学教授
"	田中 俊彦	"	"	東京電力(株)課長
"	中高 桑良	"	"	日本大学教授
"	板倉 弘重	"	"	京都女子大学助教授
"	舛重 正一	"	"	
"	久保 ゆかり	"	"	東京農業大学教授
9. 2. 1	千葉 立也	(文教育学部)	"	東洋大学助教授
"	尾見 敦子	"	"	明治学院大学教授
"	木全 弘治	(理学部)	"	川村学園女子大学助教授
"	若能 松征	"	"	愛知医科大学教授
"	吉崎 修静	"	"	東京電機大学助教授
"	渡小 眞	(生活科学部)	"	慶応義塾大学助教授
9. 2. 20		"	"	日本女子大学教授
		"	"	東京農業大学教授
◇併任				
9. 1. 1	岡村 道雄	講師 (文教育学部)	9. 3. 31	文化庁主任文化財調査官
"	西野 由希子	"	"	茨城大学講師
"	中垣 啓満	"	"	国立教育研究所発達研究室長
"	樋口 周裕	(理学部)	"	国立健康・栄養研究所健康指導研究室長
"	泉屋 本一	"	"	北海道大学教授
"	岡上 堯利	"	"	東京大学助教授
"	石隈 眞知代	(生活科学部)	"	科学警察研究所法科学第三部長
"	藤崎 木鋭雄	"	"	筑波大学助教授
"	二馬 康維	"	"	群馬大学助教授
"	和泉 博雅	(文教育学部)	"	東京大学教授
9. 2. 1	田崎 新之成	(理学部)	"	統計数理研究所助教授
"	木田 幸久	"	"	図書館情報大学教授
"	濱口 保雄	"	"	筑波大学助教授
"	嶋田 葉子	"	"	電気通信大学講師
"	室伏 隆一郎	"	"	東京工業大学教授
"	長崎 隆一	(生活科学部)	"	東京大学助教授
"	畑山 洋健	"	"	総合研究大学院大学助教授
"	脊大 鹿健	"	"	東京大学助教授
9. 2. 20		(理学部)	"	東京学芸大学助教授
		"	"	東京医科大学助教授
		"	"	東京大学教授
		"	"	東京工業大学助教授

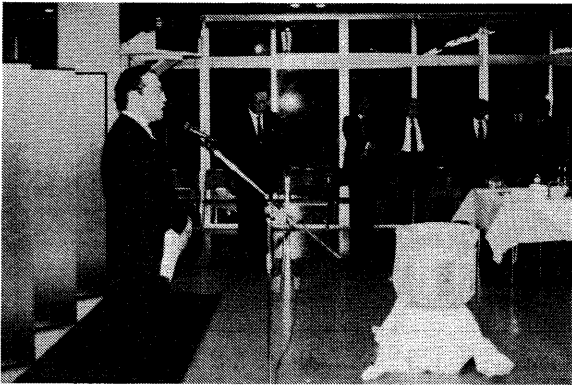
諸 報

○太田学長全学送別会

太田学長（平成9年2月15日任期満了退職）の全学送別会が、2月10日（月）午後5時から大学食堂で行われた。

送別会は、前任学部長である小林生活科学部長の送ることばで始まり、最年長学部長経験者である浅井教授の発声による乾杯のあと太田学長を囲む懇談会へと移行した。

懇談会は、和やかに進み、最年長学長経験者である市古名誉教授から太田学長へ慰労のご挨拶が述べられ、全員が見守るなか、花束贈呈及び盛大な拍手のうちに、午後7時過ぎ終了した。



小林生活科学部長の送ることば



浅井教授の発声による乾杯



太田学長ご挨拶



会場をあとにする太田学長

○訃 報

尾 鍋 輝 彦 名 譽 教 授

尾鍋輝彦氏は病気のため平成9年2月21日逝去されました。享年88才。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

生年月日 明治41年8月15日生
略 歴 昭和8年3月 東京帝国大学文学部西洋史学科卒業
昭和9年4月 成城高等学校講師
昭和10年4月 成城高等学校教授
昭和13年3月 東京帝国大学文学部大学院修了
昭和25年3月 成城大学助教授
昭和26年4月 お茶の水女子大学助教授
昭和28年4月 お茶の水女子大学教授
昭和49年3月 お茶の水女子大学停年退職
昭和49年6月 お茶の水女子大学名誉教授
平成9年2月 逝去

研究業績 西洋史学の研究・教育に精励され、その研究成果である『西洋史概説』は、学会・教育界から高い評価を得た。また退官後には、現代世界史の執筆に全力を傾注されて『二十世紀』八冊を刊行された。学内では、学生部長として学生の厚生補導に当たるとともに、学外においては教育課程審議会委員、同専門調査員、教材等調査研究会委員等を歴任され教育行政の進展に寄与された。特に戦後の社会科教育の成立過程にあって、従来为国史、東洋史、西洋史の三分野を、新たな観点から日本史、世界史に再編成するに当たったの功績は大きかったと伝えられる。また日本西洋史学会、アメリカ歴史学会などの学会活動にも尽くされた。

著 書 等 「原始共同体」新日本史講座 中央公論社 (1949)
「発展段階理論における奴隷制」お茶大・人文科学紀要 (1952)
『西洋史概説 (上・下)』学生社 (1953、1955)
『世界の歴史』別巻 中央公論社 (1962)
『中学校 社会科世界史の指導計画』国土社 (1963)
『クーデター』中央公論社 (1964)
『二つの大戦の谷間』(『大世界史』22巻) 文藝春秋社 (1969)
『西洋史概説』改訂増補 学生社 (1969)
『二十世紀』(1-8巻) 中央公論社 (1977-84)

○ 研 修

名 称	実施日時	対 象 者	修 了 者	主 催
平成8年度国立学校事務電算化 基幹要員B研修	平成9年1月20日 ～1月24日	行政情報化の推進を所掌する課又は係に所属し、システム設計に関する十分な知識・技術を有する者	会計課・総務係 総務主任 岩田 光夫	文部省
任用実務担当者研修会	平成9年1月23日 ～1月24日	任用実務経験3年未満の担当者	庶務課・人事係 給与主任 山本 直之	人事院 関東事務局

○ 海外渡航

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航目的
生活科学部 ・ 教授	田 中 辰 明	アメリカ合衆国	ASHRAE (米国暖房・冷凍・空調学会) 1997年冬期大会出席	9. 1.22～ 9. 2. 1	海外研修
理 学 部 ・ 教授	真 島 秀 行	アメリカ合衆国	「合流超幾何微分加群について」の研究成果の評価を受けるため	9. 2. 8～ 9. 2.17	外国出張
理 学 部 ・ 助手	大 場 清	イ ン ド	タタ基礎研究所における研究発表と研究打ち合わせ	9. 2. 9～ 9. 2.21	海外研修
理 学 部 ・ 助教授	林 正 男	オーストラリア	バイオサイエンスの動向分析	9. 2.20～ 9. 4.20 (帰国予定)	外国出張
生活科学部 ・ 助教授	田 辺 新 一	デンマーク王国 アメリカ合衆国	海外研究開発動向調査等に係わる派遣 (文部省)	9. 2.20～ 9. 4.19 (帰国予定)	外国出張
理 学 部 ・ 教授	太 田 隆 夫	アメリカ合衆国	「界面ダイナミクス」の共同研究	9. 2.24～ 9. 3.24 (帰国予定)	外国出張
理 学 部 ・ 助教授	藤 代 一 成	アメリカ合衆国	IEEE Virtual Reality Annual International Symposium 1997にて論文発表のため	9. 2.28～ 9. 3. 7 (帰国予定)	海外研修

○レクリエーション行事

行 事 名	実 施 日 時	参加者数	内 容 ・ 入 賞 者	実 施 場 所
職員バドミントン大会 (班主催による)	平成9年1月24日	40人	優 勝 全員集合チーム 菅野精子、高田洋一、 丸山彰英、坂本久観子 準優勝 庶務課チーム 井之上純孝、中島武幸、 古賀 智、上島正彦、 今井千恵子、伊藤 武 第3位 会計課Cチーム 齋藤太一、竹下良久、 佐々木 健、松浦弘美、 茂木和恵	附属中学校 体育館
職員麻雀大会 (班主催による)	平成9年2月5日	24人	優 勝 太田次郎 準優勝 山本政人 第3位 五十嵐 脩	学生部 元入学主幹室
ミュージカル鑑賞	平成9年2月28日 3月6日 3月7日	30人	題名 劇団四季ミュージカル 「クレイジー・フォー・ユー」	日生劇場
職員ボウリング大会	平成9年2月28日	45人	優 勝 柱チーム 高野佳征、林 伸早、 村上恭二 準優勝 K ³ チーム 加藤久雄、上島正彦、 亀田和江 第3位 ザ・マミローズチーム 神田浩美、柴田正造、 茂木和恵 個人1位 (男子) 村上恭二 (女子) 亀田和江	池袋ブランズウ イックスポーツ ガーデン



職員バドミントン大会 優勝 全員集合チーム



職員ボウリング大会 優勝 柱チーム

日 誌

◇諸会議

- 1月8日(水) 大学教員の任期制問題特別委員会
 10日(金) 広報就職専門委員会
 13日(月) 教官総覧作成委員会
 文教育学部大学院前期課程連絡委員会
 17日(金) 文部省本省職員倫理規程等の説明会(於・医科歯科大)
 20日(月) 事務改善研究委員会
 四附属教官の会
 21日(火) 臨海実験所運営委員会
 理学部PR委員会
 部局長会議
 国際交流委員会
 主任会議(3学部)
 国際交流委員会留学生専門委員会
 22日(水) 公開講座委員会
 第6回就職ガイダンス
 教授会
 文教育学部大学院前期課程連絡委員会
 23日(木) 第一回附属学校部長候補者選考委員会
 27日(月) 第二回附属学校部長候補者選考委員会
 施設整備事務連絡会議(於・東京水産大)
 28日(火) ジェンダー研究センター運営委員会
 部局長会議
 大学院問題検討特別委員会小委員会
 予算委員会
 29日(水) 評議会
 研究科会議
 附属学校教育研究委員会
 31日(金) 課長・事務長会議
 事務連絡協議会
 2月4日(火) 附属学校委員会

- 5日(水) 大学院問題検討特別委員会
 カリキュラム委員会
 大学院・学部入試方法検討委員会
 入学試験委員会
 6日(木) 保健管理センター運営委員会
 7日(金) 生活環境研究センター運営委員会
 部局長会議
 平成8年度国立大学学生部長会議
 (於・東海大学校友会館)
 主任会議(3学部)
 10日(月) 教授会
 12日(水) 大学教員の任期制問題検討特別委員会
 17日(月) 研究科会議
 18日(火) 男女共同参画推進連携会議(於・総理府)
 20日(木) 部局長会議
 主任会議(3学部)
 21日(金) 教授会
 文教育学部教務関係事項検討委員会
 厚生施設専門委員会
 24日(月) 教官総覧作成委員会
 入試委員会
 評議会
 25日(火) 東京都図書館協議会役員選考委員会(於・東京都中央図書館)
 27日(木) 公開講座委員会
 28日(金) 課長・事務長会議
 事務連絡協議会
 ATM委員会

◇行事等

- 1月6日(月) 新年賀詞交歓会
 家政学研究科願書受付～10日
 7日(火) 人文科学研究科願書受付～13日
 8日(水) 附属中学校願書受付～9日
 監督者説明会
 13日(月) 附属中学校第一次検定

- 16日（木） 福祉関係事務処理状況調査
教育実習説明会
附属高等学校願書受付～20日
- 18日（土） 大学入試センター試験
- 19日（日） 大学入試センター試験
- 20日（月） 理学研究科第二次募集願書受付
～24日
平成8年度国立学校事務電算化基
幹要員B研修～24日（於・オリセ
ン）
- 23日（木） 学術情報センターシンポジウム
（於・東京大学）
- 24日（金） 「お茶の水女子大学の現状と課題」
懇談会（於・東海大学校友館）
バドミントン大会
- 27日（月） 学部入学願書受付～2月4日
- 29日（水） 桜蔭会奨学金授与式（於・桜蔭会
館）
- 30日（木） 文京区との学長懇談会（於・椿山
荘）
- 2月3日（月） 人文科学研究科入学試験～5日
家政学研究科入学試験
附属中学校入学試験
- 4日（火） 理学研究科入学試験
組織の廃止転換・再編成等に係る
検討状況等説明会（於・文部省）
- 5日（水） 女性の教育問題担当官視察(JICA)
- 6日（木） 附属中学校帰国子女入学試験
健康安全管理状況調査（人事院本
院）
教育実習説明会
- 10日（月） 学長全学送別会
- 12日（水） 附属高等学校入学試験
大学院修士課程各研究科合格発表
教育実習説明会
- 14日（金） 学長離任式
- 17日（月） 学長就任式
- 18日（火） 事業者処理計画の回収立入（東京
都清掃局）
- 25日（火） 学部入学試験
- 26日（水） 学部入学試験
- 28日（金） ボウリング大会